### 楽しみながら多言語・国際交流

ファミリー国際コミュニケーション教室

2月23日、えずこホールを会場に、外国人と気軽に楽しく接する方法を体験を交えて学ぶ教室(主催:大河原町・柴田町・白石川 堤一目千本桜観光連携推進協議会)が開催されました。

世界の言葉を楽しく習得する活動を行っている「ヒッポファミリークラブ」のメンバーと、各国からの留学生が講師となり、世界の音楽に合わせて体を動かしたり、民族衣装を着たメンバーと世界のことばで挨拶を交わすなどの交流が行われました。

参加した子どもたちは「いろいろな 国の人とたくさん話せたよ」と目を輝 かせていました。





▲上手にあいさつ、できました!

#### 認知症を知ろう

金ケ瀬中学校 認知症講座

2月19日、金ケ瀬中学校の3年生を対象に、認知症をテーマとした保健体育学習が行われ、かわち医院の河内三郎先生と、地域包括支援センター職員が講師として授業を行いました。

河内先生からは、認知症とは何か、症状や原因、家族が認知症になった場合は、何度も同じ話をしても責めてはいけないなど対応方法について説明がありました。地域包括支援センター職員は、紙芝居を用いて認知症を題材にした中学生人権作文を朗読し、その後、認知症サポーターや長寿みまもり隊などの認知症のかたを支える取り組みについて説明しました。

生徒たちは、認知症についての理解を深め、認知症のかたに 接したときの心構えを学びました。



▲生徒の前でお話をする河内三郎先生。

## 安心・安全な暮らしのために

大河原町内郵便局との包括的連携に関する協定締結式

町と大河原郵便局・金ケ瀬郵便局・幸町郵便局・桜町郵便局の町内4つの郵便局は、より幅広い分野で協力するため、3月17日に「包括的連携に関する協定」を結びました。これにより「安心・安全な暮らしの実現」「地域経済活性化」「未来を担う子どもの育成」「女性の活躍推進」「その他、住民サービスの向上」など、5項目の連携が図られます。

大河原郵便局の佐藤局長は、「身近な郵便局として町内の安心・安全に協力していきたいです」と今回の協定に対する思いを述べられました。







# まちのわだい

### 地場産たまねぎのおいしさを実感第2回大河原町産農産物の料理試食会

2月28日、にぎわい交流施設にぎわいルームを会場に、大河原町産農産物の6次産業化へ向けた取り組みの一環として、大河原町産のたまねぎを使用した料理の試食会が行われました。試食会は新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、規模を縮小して行われ、大河原町生活研究グループ連絡協議会の皆さんが、じゅわっとうまみが染み出す「たまねぎの肉詰め」、黒酢たまねぎドレッシングが絶品の「キャベツロール」など6品を作りました。どれも素材を活かしたもので、参加した皆さんはたまねぎのおいしさと、様々な料理への可能性を感じながら試食していました。





▲たまねぎ生産者の長山さん(左)と渡邉さん(右)。

#### 時代を超えた雛飾りがお出迎え

#### 第7回おおがわら佐藤屋でひなまつり

2月28日から3月1日までの3日間、町内の旧家に残る様々な雛人形を一堂に集めて展示する「第7回佐藤屋でひなまつり(主催:佐藤屋プロジェクト)」が佐藤屋邸で開催され、約750人が訪れました。

会場では、関西圏で見られていた「御殿雛」という珍しいひな人形や、つるし雛などが飾られました。「御殿雛」は、京都御所で行われる春の宴を模しており、豪華な屋敷の作りなどが特徴です。

また、古布を使って制作した作品などが展示されたほか、ワークショップなどが開催されました。

テレビや雑誌などのメディアで取り上げられたことで、初めて訪れたかたも多く、佐藤屋邸の建築の素晴らしさと雛飾りの優美さに魅了されていました。



▲一つ一つが可愛らしい「つるし雛」



▲御殿雛の説明を受ける来場者



▲大人気の古布ワークショップ



▲国登録有形文化財佐藤家住宅の入口



# 住宅リフォーム専門店

お客様の声を第一に!安心と快適な暮らしをご提案させて頂きます。

新築・設計施工・まるごとリフォーム・ 屋根・外壁・風呂・水まわり・塗装・オール電化

グループ 🐠

**€** kus∞ 信頼の「長期優良住宅」

● 自エイルヤー対策等級4ク ● 劣化軽減対策等級3クリア



エクセレントショップ サイトー

